

おかだ耕一

後援会会報
No.12
2001.10.15

発行/おかだ耕一後援会 豊田市宝来町4-758-141 TEL・FAX/88-9194(岡田自宅) 世話人代表/久保 仁勇



米国にて発生した同時多発テロ事件で犠牲となられた方々に
哀悼の意を表するとともに、米国民、多くの被害者の方々に対し
心からお見舞い申し上げます。

市民の皆様、地域の皆様、後援会の皆様、いつもおかだ耕一の活動に対しましてご理解、ご支援頂きありがとうございます。豊田市議会9月定例会も9月3日から19日までの会期で開催され、16議案すべてが可決、「平成12年度豊田市一般会計決算」などの12承認案件すべてが承認されました。

会期中であります9月11日には、米国において同時多発テロ事件が発生し、数多くの尊い人命を奪うという悲劇に見舞われました。

豊田市議会におきましても「米国における同時多発テロ事件に関する決議」を全会一致で決議し、犯人が早急に逮捕されるとともにこのようなテロ事件が二度と起こらない社会の実現を切望しています。

豊田市議会議員 岡田 耕一

9月議会で可決された主な事業

- とよた市民活動センター条例
平成13年10月25日に市民が行う社会貢献活動の発展を図るために「とよた市民活動センター」を松坂屋ビル9階に開設する。延床面積:997㎡(活動室、会議室、ホール、研修室ほか)
- 平成13年度豊田市一般会計補正予算
(仮)豊田市駅前サービスセンター費 29,939千円
平成14年4月1日に松坂屋ビル7階に住民票、印鑑証明等の発行窓口業務を開設します。休業日は年10日程度、南庁舎での土曜窓口は13年度末で閉鎖の予定
- 豊田市民文化会館舞台機構改修工事 474,700千円
- 豊田市民文化会館空調設備改修等工事 328,650千円
- 豊田市民文化会館音響設備改修工事 215,250千円
大ホール、小ホールのステージ装置、制御盤や空調関連機器やスピーカー、アンプ等の音源機器類の更新等。これらの工事に伴い大ホールは2/1～28まで使用が出来ません。

無料法律相談のご案内

日時 / 11月10日(土)
12月 8日(土)
時間 / いずれも午後1時30分～3時
場所 / 豊田産業文化センター4階にて
問合せ / 豊田市議会議員 おかだ 耕一
TEL 88-9194

弁護士に無料で相談できます。予約制ではありませんので、しばらくお待ちいただくことがあります。ご了承下さい。あわせて、行政相談も実施しておりますのでお気軽にお越し下さい。

ここが聞きたい！議員？豊田市政？

ここでは、一般的な議員、市議会、また豊田市政に関する質問をQ&Aという形でおかだ耕一市議が答えていきます。

- ㊦ 加茂病院移転候補先が決定したそうですが、 ㊦ 移転候補先として御幸地区と上野・広川地区の2ヵ所が提示されました。簡単に言うとうなっているのか教えてください。 と童子山小学校南側と豊田北高校東側となります。比較すると次のようになります。

調査項目	御幸地区<現況>	上野・広川地区<現況>
診療圏	現在地から1.5km	現在地から1.8km
既存病院との距離	トヨタ記念病院より2.8km 医療センターより4.3km	トヨタ記念病院より3.4km 医療センターより3.0km
災害拠点病院機能(災害危険性)	H12.9東海豪雨により一部浸水	H12.9東海豪雨により一部浸水
療養環境	西側＝工業専用地域(住友ゴムなど) 東側＝第一種住居地域	北側・東側＝第一種中高層住居専用地域
既存公共交通(鉄道)	愛環新上挙母駅より200m 名鉄三河線上挙母駅より500m	豊田市駅より1.9km
既存道路交通	国道155号、(都)小坂若林線	(都)豊田則定線、(都)豊田市停車場線、(都)寺部御立線
課題と今後必要な整備	<ul style="list-style-type: none"> ・東海豪雨において候補地一部が冠水 ・長田川、安永川の流下能力不足への対応 ・予定地内の77,000ボルト送電線鉄塔の移設 ・緊急車両通行空間の確保(周辺道路はすべて2車線) ・開発に伴う汚水処理能力不足に対応するための秋葉2号汚水幹線既設管の入れ替え ・各アクセス道路整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地除外(次回の申請は平成18年となります) ・東海豪雨において候補地一部が冠水 ・各アクセス道路整備

当然、移転は地主さんの了解と加茂病院(厚生連)側の意向に沿ったものになりますが、私としては、豊田市民にとって便利で安心して利用でき、税金の補てんもより少なくできる場所にできる限り早期に建設できるように働きかけてまいります。

豊田市議会 9月定例会 会期 / 9月3日～9月19日

16議案 12承認案件 1議会決議 1請願等について審議

本会議では全議案可決、全承認案件承認 1請願不採択

私は、全議案に賛成、1承認案件「平成12年度豊田市一般会計決算」に反対。(P4の反対討論参照)

1請願「就学前までの医療無料化を求める請願書」に賛成 (思政クラブ、公明党などの反対多数により不採択)

1. 学校週5日制、週休2日制への対応について

〈答弁は杉山社会部長〉

Q 児童、生徒を家庭、地域に返すという考えのようだが、各コミュニティ会議や自治区、その他任意の団体等、受け入れ態勢は整っているのか。強制参加にならないか。



A 子どもの受け入れ態勢は、全市域、コミュニティ単位、自治区単位などが想定される。地区コミュニティ会議の青少年育成部会をはじめ、校区のPTA、子ども会、ジュニアクラブなどいくつかの青少年団体では積極的に学校5日制のあり方を検討したり、地域行事を計画しているとの情報を得ている。行事への参加も本人の自主性を尊重する視点が必要。

Q 私はある方から、「コミュニティ会議から指導員になるように依頼を受けたが、全くの無報酬で交通費すら出ない、活動実費すら持ち出しになるようでは、なかなか仲間を誘えない」また「万が一、事故やトラブルがあった場合、責任を取れない」と伺った。受け入れる地域のボランティアへの報酬その他の待遇と責任についてどのように考えているのか。

●フットサルを楽しむ子どもたち

A 地域のボランティア活動は、金銭的対価を求めるよりも精神的満足を求めるものと考え、会場の確保、行事のPRなど側面的部分での支援を検討する。地域のボランティア活動中の事故等の対応は、市の奉仕活動障害見舞金、社会福祉協議会のボランティア保険、青少年活動協会の青少年団体障害互助会見舞金、区長会共済会の障害見舞金など各種の保険、見舞金制度を利用してもらうよう周知に努める。

(再質問)市の責任と事故の未然防止の考え方は。

(再答弁)安全については公民館、団体等が研修会を行うようにする。

おかだ耕一コメント

休日の児童生徒の活動に対して受け皿準備をしていることは評価するが、それらが強制参加になることを危惧する。答弁では、参加は自主性を尊重すると言っているが、ボランティア活動や各種自主活動が内申書等に反映されるから子ども達が参加するという雰囲気にならないことを

願う。教育現場にもそうならないように求めたい。

また、週休2日に移行する上での地域ボランティアの重要性の割には責任についての市の関与が不十分に感じる。安心して活動できる体制を市が側面から積極的にサポートしていくべきである。

2. 地域スポーツクラブの方向性について

〈答弁は三宅教育次長〉

Q 体育系部活動では、選手が連盟との二重登録ができない関係で、中学校の部活動に入った選手は地域クラブから大会には出場しようと部活動は他の体育系部活動や文化系部活動に入部する生徒もいる。また、中学校の部活動の指導者は、専門以外の方も顧問になるため本格的に取り組みたい生徒にとっては不本意な部活動もある。確かにそれを補うために地域の方が部活動の指導を手伝っている学校もあるが、将来的には地域クラブチームに移行していった方がいいのではないか。

A 学校部活動と総合型地域スポーツクラブは、連携、協力、相互補完し合い、活動できるよう育成したいと考える。



●五ヶ丘グランドクラブハウス

Q 学校部活動が地域スポーツクラブに移行するにしても新たに「総合型地域スポーツクラブ」を立ち上げるにしても設立時には大きな財政的負担がかかる。運営も並大抵の努力では継続できない。指導者の育成と報酬、活動拠点の確保を含め、クラブへの援助をどのように考えているのか。

A 総合型地域スポーツクラブは、地域住民の主体的な取り組みの上で運営財源は、受益者負担を原則とする。設立に向けての調整、助言、クラブハウス機能の確保などは、行政の支援が必要と考える。どの程度の援助が必要かは関係団体と今後協議する。

おかだ耕一コメント

生徒数の減少により各種部活動も廃部や休部になった学校が多くあると聞く。これからは学校、教員が部活動を手放し、地域でのクラブ活動を推進すべきだと思っている私にとっては不本意な答弁であった。

教育委員会が、今まで通りの学校部活動を続けるのであれば、地域をもっと学校に巻き込む工夫を求めている。

3.IT講習について

〈答弁は三宅教育次長〉

- Q IT講習は、1講座、受講生10名に対して講師1名と講師補助2、3名という体制をとっているが、業者からの派遣である講師が数名交代させられたと聞く。受講者が今後もパソコンに触れてみようと思うかどうかは、講師によって大きく左右される。市は、講師の指導レベルのチェック、初心者にも分かりやすく指導できるレベルの高い講師を確保するための方策は。
- A 講師は4業者から58名派遣され、評価については、講習終了後の受講者アンケートで82%の方が、「親切」と回答。講師適性については必要な指導を行う。
- Q 市がボランティアとして募集した講師補助は、会社を卒業された方や現役の方はもちろん、中高生も活躍されている。謝礼は、1時間につき500円の図書券を支給。ボランティアの数が不足している公民館もあると聞くが、今後のボランティアの採用募集や謝礼等の考え方は。
- A 今後のボランティア募集は、公民館を中心に参加を呼びかける。謝礼については大人から中学生までを考慮し、妥当と考える。
- Q 受講者が今後も継続してパソコンに触れてみようと思うかどうか、ステップアップを求めるかどうかは、この講習での達成感、満足感に関わる。市は、受講生の満足度をどう把握しているのか。
- A アンケート結果によれば「よく理解できた」「だいたい理解できた」が72%。概ね満足いただいていると考える。
- Q 1期目の受講希望者は受講予定者を大幅に上回ったようだが、2期目は受講者数2553名と1期目の3755名を大幅に下回る。また、1人も希望者がなく受講コースを取りやめたものも多々あった。この何が理由は。市は定員に届くように努力をしたのか。この状況をどう考え、今後、IT講習をどのように継続していくのか。また、来年度以降のIT講習、実施の考え方は。
- A 第3期の講習では約1,800名の応募で定員に余裕があるため既に受講された方にも再度呼びかけている。第4期については表計算等も取り入れ内容充実を図る。来年度以降は公民館講座として実施し、市民のIT基礎技能向上に取り組む。
- (再質問)IT講習、受講者の再度の呼びかけは。
- (再答弁)公民館利用者などに機会あるごとに呼びかける。

おかだ耕一コメント

現状のIT講習受講者数を見ると豊田市には、パソコン初心者のニーズが少ないのか、それとも市のPRが少ないのか私も判断できない。この事業は、市だけでなく、国から予算を受け実施している国家的な事業である。豊田市でも240台のパソコンを新規購入した。これらが有効利

用されるための方策を私もいっしょになって考えていきたい。答弁については概ね理解できるが、ボランティアの処遇についてはもう少し考えてもらいたい。派遣業者からのレベルの高い講師の確保は、受講者の受講意欲に直接関係するため常に要求していく必要がある。

4.放課後児童健全育成事業について

〈答弁は杉山社会部長〉

豊田市議会では、毎年のように「放課後児童健全育成事業の充実を求める請願」を思政クラブ、公明党などの反対多数で不採択にしている。現在の開設校は、22校+1施設と増設され、充実しつつあるが、働く保護者の願いはまだ届いていない。

- Q 現在は余裕教室利用が前提で、希望児童が多くても余裕教室がなければ設置できていない状況。視察で訪問した枚方市では、小学校の校庭に専用の施設を設置し運営されていた。本市においても東保見、西保見校の両小学校では民間の施設を借用し運営されている。余裕教室にこだわるのではなく、専用施設、他の施設利用を検討すべきでは。
- A 同一敷地であり、活動場所への移動が容易で安全、保育中における交通の安全が確保できる。校庭等保育に必要な施設が整っている。学校との連携が容易で、学校教育と一貫した保育が可能であることから今後も基本的には小学校の施設を利用して開設していく考えである。
- Q 安城市では4ヶ所ある民間児童クラブに今年度、1カ所につき38万2千円の補助金の予算計上。春日井市では13カ所ある民間児童クラブに20万円ずつの補助金を交付。豊田市でも民間児童クラブに補助金等の援助は出来ないか。
- A 民間より具体的に話が合った場合、市の方針、国の基準等総合的に勘案し判断していく。
- Q 放課後児童健全育成事業は基本的に1~3年生までが対象だが、現状でも受入可能であれば4~6年生も受け入れている。もっと積極的に高学年受け入れを広報してもいいのでは。高学年がいれば低学年の面倒を見てくれるなど、年齢的な上下の人間関係もでき、いい体験になる。高学年受け入れの考え方は。
- A 受け入れ児童の対象は、1年生から3年生で定員を30人としている。ただし、定員に余裕のある場合は、4年生以上も受け入れをしている。活動する施設に余裕がある場合は、定員の30人を超えて受け入れる。この場合、指導員の増員もしている。
- Q 春日井市や大府市の児童クラブでは、来年以降も土曜日は開設する方針。岩倉市では、開設時間を父母の労働実態に合わせ午後7時まで延長保育を実施している児童館が7カ所の内3ヶ所ある。豊田市では15年度末の目標として27箇所の開設としているが、開設箇所が地域によって差があってはならない。余裕教室にこだわることなく、市民ニーズに対応した開設をすべきだ。開設日、開設時間を含め、今後の設置計画は。
- A 女性の社会参画が加速する中で、参加児童数は大幅に増加。未開設校においても潜在的な待機児童は、確実な増加が推測され、保護者からの要望も多い。仕事と子育てを両立しようとする留守家庭への幅広い支援策のひとつとして、放課後児童健全育成事業のさらなる充実を図るため、平成14年度以降についても教育委員会と連携し、開設校を積極的に拡大する。
- (再質問)14、15年度の具体的な設置計画、土曜開設と時間延長は。
- (再答弁)教育委員会とも協議し、今後市民ニーズにあった設置をする。土曜開催は地域や家庭で育つという考えで。時間延長は今後の検討課題。



●枚方市の児童クラブ専用室

おかだ耕一コメント

市が余裕教室がある範囲で設置校を増やしていることは評価する。しかし、余裕教室がないということは放課後児童クラブのニーズが高いということと比例するはずである。余裕教室にこだわることなく積極的に開設校を増やすという答弁が聞けなかったことは、不満であるが、重要

性については同じ認識であることを確認できた。思政クラブ、公明党などは、いつもこの事業の充実を求める請願に対して反対しているが、私は今後も継続して保育時間の延長、土曜日開設、専用施設での開設等この事業の充実を求めていく。

「承認第5号 平成12年度豊田市一般会計 決算」の反対討論

市議会では3月議会で1年間の予算を決定するように9月議会では前年度の決算状況の審査をします。決算ですって使ってしまったものを返せとは言えませんが、今後の予算計上、執行が適正に行われるように特別委員会を設置し、厳正に審査するとともに本会議でも承認するかどうかの討論、賛否の意思表示をします。〈以下、おかだ耕一が反対する理由の抜粋です〉

①2款 総務費 1項14目の土地利用調整費のうち研究開発施設用地取得費 5億円

これは、研究開発用地として豊田浄水特定土地地区画整理事業用地4万1,470㎡を12年度から16年度の債務負担行為として約24億4,000万円を限度額として取得するものだが、現段階では国も県も市も具体的に何に利用していくのか一切決まっていない。使う当てもない土地をむやみに取得

する必要はない。他に購入すべき用地ややるべき事業があるはず。一度取得してしまうと今度は何かやらなければならないからと市民ニーズに合致しない事業を無理に進める可能性もある。あてのない用地取得はすべきでない。

②2款 総務費 7項1目のうち 外部監査費 1155万円

包括外部監査契約に基づく監査を公認会計士に行ったものだが、計算方法としては基本費用を230万円、執務費用として監査人1日あたり82,500円、監査人補佐の会計士さん1日あたり51,000円の延べ116日・人という計算。この報告書の中身を見ると監査対象部署は、旧理財部市民税課、資産税課、収納課で報告書は表紙を除いて8ページ。内容は、監査対象選定理由や監査の方法が記され、実質的な監査結果の報告は4ページ。法人市民税の調査の状況…1ページ。領収書の管理…1/2ページ。

収納関係…1ページ半。固定資産税(償却資産)の申告状況…1/2ページ。償却資産に対する家屋との分離課税…1/2ページ。長々と報告書を書けばいいというものではないが、市民オンブズマンが全国で最低と指摘されるような実質4ページ、1ページあたり288万円もする報告書には承認できない。13年度は、契約先が変わったが、次年度は全国に汚名返上出来る包括外部監査報告となるよう要望する。

③繰越明許費として執行された「豊田まちづくり株式会社出資金及び中心市街地緊急活性化対策貸付金」 48億円+3億円

旧そごうあとの駅西再開発ビルに松坂屋を誘致するための一連の事業だが、決してこの51億円投入で中心市街地の活性化が出来るわけではない。根本的な市民ニーズ、商圈人口、消費の需給関係を総括しないままの執行はすべきでない。今後の中心市街地の問題に対して同様な問題が発生し

たとしても慌てず騒がず市としては冷静に対応することを望む。



④7款 商工費 1項2目 プレミアム商品券発行等の緊急経済対策特別事業費

プレミアム商品券発行は、人気が高いのも事実だが、多くの市民が購入したいにもかかわらず買えない状況。発行数が3億円分で上限10万円では3,000人しか買うことができない。豊田市の世帯数約12万5,000世帯から考えると約2パーセントの世帯しか恩恵を受けない。全市民に恩恵があるようにバラマキをしると言っているのではない。市民の皆さんからお預かりして

いる大切な税金を公平、平等に再分配すべきと言っている。できないのであればこの事業はすべきではない。また、短期間で消費需要の創出がされたと言うが、ただ単に現金で買う分を商品券で買っただけ。決して新たな消費を喚起されたのではないことは地域振興券の事例が物語っている。

⑤8款 土木費 5項11目 中央公園費 約153億7400万円



約153億1200万円はスタジアム建設費。中心市街地の活性化と子ども達に夢と感動を与えると称して今年の7月に豊田スタジアムはオープンしたが、先の一般質問の答弁において中心市街地にお金を落としていないことが明らかになった。スタジアム建設の目的の1つであった市街地活性化が

叶わないことが実証された。私自身もサッカーファンの1人として瑞穂競技場にも足を運ぶが、私を含め、周りのファンを見ても買い物をするのは飲食関係だけ。全くの見込み違いだったのではない。また、決算上は13年度ですが、近々実施の計画がされている児童、生徒のスポーツ観戦事業は、対象児童、生徒の半分しか希望者がいないという結果。スタジアム建設自体が目的化され、完成すると今度は、スタジアムの稼働率を上げることが目的化されてしまった感のある豊田スタジアム。瑞穂競技場や豊田スタジアムで観戦しているサッカーファンの私にとってもこの建設費用については、今でも承認することはできない。

⑥豊田スタジアム管理運営株式会社出資 3400万円についても一言申し上げる

私も民間の経営ノウハウを導入し、健全運営が出来るであろうと出資には賛成したが、幻滅した。それと言うのは、豊田スタジアムオープン後のJリーグオールスター戦招待状の件である。ただでさえ、経営的に厳しいということが分かっているにもかかわらず、現職市議会議員全員にペアで招待券を配るというのはいかがなものか。(私

は丁寧に返却させていただいたが)そうしたチケットがあるなら少しでも販売に回し、経営的な努力をするのが株式会社のはず。市からの管理委託費を除いた黒字化は難しいとは思いますが、今後はこうしたことがないようにいっそうの経営努力をしていただくことを要望する。

お 願 い	内 容
<p>おかだ耕一後援会の活動は多岐にわたります。どうか、皆さんのお力をおかだ耕一後援会へお貸しください。</p>	<p>ホームページ作成 会報編集(原稿作成、レイアウト編集、校正) 会報郵送準備 (封筒へ宛名貼り付け、会報折り込み) 会報手配り(50~500部程度の各戸配布) 会の運営(企画、立案)</p>

市政に関する様々な疑問、質問、要望等お気軽にご相談ください。
連絡先

TEL・FAX/88-9194(岡田自宅)
<http://www.hm.aitai.ne.jp/~ko-okada/>
E-mail: ko-okada@hm.aitai.ne.jp

100%古紙再生紙を使用しています。 